

PROFILE

自営業  
小川 洋一郎さん

SPEC

居住地域：埼玉県春日部市  
居住形態：一戸建て(持ち家)  
間取り：OLDK+ロフト  
居住年数：1年6ヵ月  
築年数：18年



LDKの一角はキャンプ好きのニュアンスが色濃く盛り込まれ、通常は外壁に用いられる板材を使用し、3種ものステンを塗布。程よくエイジングされたイメージに仕上げている。

## 開放的にユニークに、家主の自由な発想で色づけする“OLDK”。

リビングのラックにディスプレイされたギアの数々から一目瞭然だろう、小川さんの趣味はキャンプ。子供と一緒に楽しむアクティビティとしてキャンプを始めたのをきっかけに、ヴィンテージギアを収集することの虜に。ヴィンテージにこだわる理由を尋ねると、「またと同じものがないからです」と答えてくれた。誰かの手によって使い込まれたギアは、まさに唯一無二。ヴィンテージが持つふたつとない趣を好む小川さんだけに、住まいの表情もユニークだ。祖父から父へ、父から小川さんへと受け継がれた鉄骨造の一軒家は、クルマ好きなら一度は憧れるビルトインガレージ。その外観だけでも目を引くが、小川さんは内装でもフルリノベーション。3LDKだった間取りをスケルトンに解体し、斬新なOLDKへと生まれ変わった。

リノベーションを手掛けたのは、一過性の流行に左右されないもの創り。をデザインコンセプトに掲げる「ハグホーム」。「家族がのびのびと暮らせる開放感も、子供一人ひとりのプライベートも妥協したくない」という小川さんの親心を表現するため、広々としたLDKに3つに仕切られたキッズルームを設置。子供のプライベートと家族の一体感を両立させた造りがおもしろい。

「従来の間取りにとらわれるのではない。OLDKの開放感が気に入っています。浮かぶようにディスプレイした植物のように、広々としたスペースだからこそ、いろいろなことをしてみたいんです」。ユニークな家の造りに家主自身の発想がプラスされ、小川さんの住まいはよりオリジナリティを増していく。

### リ

ビングのラックにディスプレイされたギアの数々から一目瞭然だろう、小川さんの趣味はキャンプ。子供と一緒に楽しむアクティビティとして



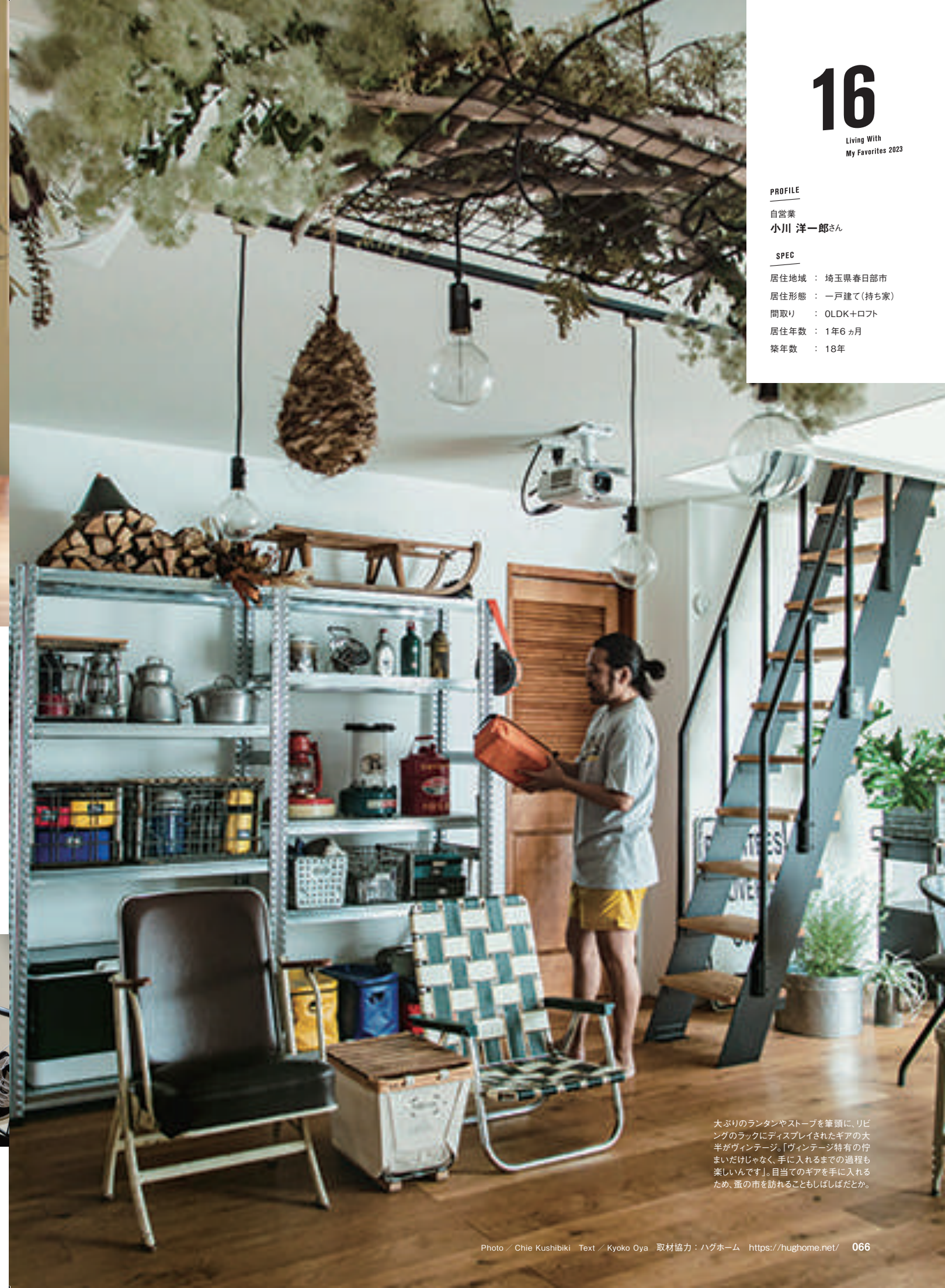
リノベーション前からロフトのある構造だった小川邸。以前のハンゴで登る仕様から階段に改装し、マットブラックの階段が白壁や植物のナチュラルな印象を引き締めている。



グリーン好きの一面も持つ小川さん。庭の植物用ラックはコンクリートブロックを脚にする形でD.I.Y.。屋内にあるグリーンと合わせると、50株近くの植物を育てているそう。



ロフトの一角は小川さんのプライベートスペース。レコードプレイヤーにターンテーブルも備え、レコードが詰まったラックは板材とコンクリートブロックを用いてD.I.Y.



大ぶりのランタンやストーブを筆頭に、リビングのラックにディスプレイされたギアの大半がヴィンテージ。「ヴィンテージ特有の付まっただけじゃなく、手に入れるまでの過程も楽しいんです」。目当てのギアを手に入れるため、蚤の市を訪れることもしばしばだとか。



小川さんにはテレビがなく、その理由は大迫力のプロジェクター。こちらのインに懸掛けて映画やスポーツ中継を見るのが日課だが、左は米国の映画館で使用されていたヴィンテージ。



鉄骨造の住まいはハンモックを筆頭に植物をふんだんに吊しても余裕のタワさ。ダイニングにセットされた丸テーブルは、リノベーションを手掛けた「ハグホーム」のオリジナル。



1.小川さんの住まいは、ガレージの上に三角屋根の平屋をのせたような造り。玄関からLDKに通じる階段の踊り場には(ステューシー)のポスターをセット。 2.玄関にレイアウトされたウッドベンチにも植物がディスプレイされ、その隣はリビングにもセットされている「P.F.S.」別注のローンチェア。1960年代アメリカを象徴するレトロなデザインが、ヴィンテージ好きの小川さんらしいセレクトだ。 3.ギアのディスプレイラックは見るからに屈強な(メタルシステム)。棚板の高さも自由に調整できる。 4.ウッドやタイルにステンレスといった異素材がよくミックスされたキッチン。壁に設けた小窓が抜け感をプラスし、グリーンタイルがモダンなアクセントに。 5.こちらがLDKの一角に設けられたキッズルーム。しっかりと仕切りながらも天井にはすき間を残し、プライベート感と家族の一体感を両立。将来的にはキッズルームの仕切りを取り外すこともできる仕様だ。 6.小川さんがゆったり趣味の時間を過ごすロフトには(ペレグリンデザインファクトリー) (ハリスティクス) (ネイタルデザイン)によるコラベンチをセット。 7.天井のダクトレールからメッシュパネルをハンギングし、流木やドライフラワーを大胆にディスプレイ。植物が宙に浮いているように見え、真似したくなるアイデアだ。 8.キャンプ好きらしく愛車は2014年式のラングラーだが、「ラングラーを買ったのをきっかけにキャンプを始めたようなものです」と笑う。

|   |   |   |
|---|---|---|
| 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 |   |
| 8 | 7 | 6 |